

# 議会のトピックス

## TOPICS

議会報告会を開催

バラ議会・議場演奏会を開催

常任委員会の報告

ここが聞きたい 13人が一般質問

特別委員会の活動報告

議長交際費・政務活動費の公表

補正予算に対する  
附帯決議を可決



# 議会報告会を開催

## 5会場で市民86人が参加



なごやかな雰囲気の中で行われた意見交換（下恵土地区センター）

5月18日・19日・20日・21日に、市内5カ所の地区センターで「議員と語ろう」第13回議会報告会を開催しました。議会報告会は、議会の活動を知っていただき、意見交換会を通じていただいたご意見を、これからの議会活動や政策提案に活かすことを目的としています。

### 意見 予算についていただいた

今回は、兼山、土田、桜ヶ丘、下恵土、帷子地区センターの5会場で開催し、86名の参加がありました。各会場では、数名ずつのグループに分かれ、それぞれに議員が加わり意見交換等を行いました。

▽東美濃の観光連携の推進はもちろんだが、木曽川の観光資源等も活かしていくことが重要である。

まず議員が議会広報紙「議会のトビラ」を使って、3月議会での平成30年度予算の主な事業内容、常任委員会での審議内容、予算に対して議会が行った提言に対する市の対応などを説明しました。

▽東美濃ナンバー実現協議会への予算を観光振興に組み替えた経緯がわかった。

また議員が議会広報紙「議会のトビラ」を使って、3月議会での平成30年度予算の主な事業内容、常任委員会での審議内容、予算に対して議会が行った提言に対する市の対応などを説明しました。

▽岐阜医療科学大学へ18億円の投資をする以上、将来に繋がる誘致となしてほしい。

▽可児駅前への投資（区画整理事業、子育て拠点施設整備）は良いことである。加えて、大学誘致に併せ、西可児駅前の整備も進めてほしい。

その他、防災、空き家問題、自治会組織、子育て健康プラザ「マリーノ」など、市政全般にわたってたくさんのご意見をいただきました。

その他、防災、空き家問題、自治会組織、子育て健康プラザ「マリーノ」など、市政全般にわたってたくさんのご意見をいただきました。

# 「議員と語るう」



(帷子地区センター)

## 議員の定数・報酬について

また、今回は議員の定数・報酬について、これまで可児市議会が取り組んできている検討の経過説明を行い、それに対するご意見をお聞きしました。

可児市議会では、特別委員会やプロジェクトチームを設置して、議員の活動量調査、大学教授からの助言の活用等を行いながら、議員の定数と報酬のあり方についての調査、研究を続けています。

## 議員の定数・報酬について いただいた意見

▽定数を削減し報酬を見直すべきである。

▽女性を含む若い世代が議員を目指せるように努力されたい。併せて、議員のなり手不足にならないように環境を整えていただきたい。

▽定数・報酬については、市税収入や他市との比較が必要である。

▽地域の声を市政に届けるためにも、定数は現状で良い。また、議員として一生懸命やっていたら報酬を上げれば良い。

## アンケートの自由意見より

▽議会報告会の結果を市民にフィードバックするように努めてほしい。

▽市民との意見交換の場を設ける議会の構えが良い。

▽市民の声、意見を聞く機会、場をもっと増やすべきである。

▽可児市のために議員として自覚を持ってやってほしい。

いただいた多くのご意見を、内容によって所管の常任委員会に振り分け、今後の議会活動にどう活かしていくのか、協議しました。

その中でも岐阜医療科学大学の開設に関しては、所管の総務企画委員会において、大学との連携の在り方やまちづくりを活かすための諸課題について調査研究を行うことなどを共通認識としました。

また、建設市民委員会では、加入率が低下している自治会組織のあり方について、大きな課題ととらえ、持続可能な組織づくりに向けた調査研究を行うっていくこととしました。

いただいたご意見をまとめた「議会報告会実施報告書」は、可児市議会のホームページで見ることができます。



今回の議会報告会は11月に開催予定です。次号の「議会のトビラ」で、日程や開催場所等についてご案内します。みなさまお気軽にご参加ください。お待ちしております。

# 第2回定例会 **バラ**議会を開催

平成30年第2回可児市議会定例会を5月28日から6月22日までの26日間の会期で開き、平成30年度一般会計補正予算など、17議案を審議しました。



平成27年から、6月議会を『バラ議会』と称することとしています。花フェスタ記念公園及び岐阜県立国際園芸アカデミーのご協力をいただき、議場をたくさんのバラで飾りました。

また、開会前に、中部フィルハーモニー交響楽団に所属するお二人によるバイオリンとチェロの演奏会を行いました。バイオリン奏者の古井さんは可児市在住で、可児市の自然にちなんだ曲を意識して選んでくださった8曲を演奏いただきました。

## 提出された議案と審議結果

第2回定例会に提出された議案は、承認4件、予算1件、条例4件、人事1件、契約2件、その他3件、委員会発委2件で、すべて原案のとおり承認・可決・同意されました。



番号	件名	結果
承認	1 税条例の一部改正の専決処分	◎
	2 地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正の専決処分	◎
	3 都市計画税条例の一部改正の専決処分	◎
	4 国民健康保険税条例の一部改正の専決処分	◎
議案	35 平成30年度一般会計補正予算（第1号）	◎
	36 税条例の一部改正	◎
	37 都市計画税条例の一部改正	◎
	38 指定地域密着型サービス及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備、運営等に関する基準を定める条例の一部改正	◎
	39 介護保険条例の一部改正	◎

番号	件名	結果
議案	40 監査委員の選任	◎
	41 請負契約の締結	◎
	42 請負契約の変更	◎
	43 市道路線の廃止	◎
	44 市道路線の認定	◎
45 和解について	◎	
発委	1 議案第35号平成30年度可児市一般会計補正予算（第1号）についてに対する附帯決議	○
	2 市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定	◎

【結果の表示記号】  
◎全会一致で可決 ○賛成多数で可決

### 第2回定例会の賛否一覧 ※これ以外の案件は、全会一致で可決しています。

	大平	田原	高木	渡辺	出口	伊藤	板津	勝野	天羽	澤野	酒井	川上	野呂	川合	山田	山根	中村	伊藤	富田	亀谷	可児	林
	伸二	理香	将延	仁美	忠雄	壽	博之	正規	良明	伸	正司	文浩	和久	敏己	喜弘	一男	悟	健二	牧子	光	慶志	則夫
発委第1号 議案第35号平成30年度可児市一般会計補正予算（第1号）についてに対する附帯決議	●	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	-	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○

※○は賛成 ●は反対 ※議長（川上文浩）は、採決に加わらない

## ◆◆平成30年度補正予算に対する附帯決議◆◆

平成30年度一般会計補正予算について、次の附帯決議を付すことを決定しました。

平成30年度可児市一般会計補正予算（第1号）の企画一般経費 東美濃ナンバー実現協議会負担金の補正の執行にあたり、次の事項について、速やかに検討の上、実施されたい。

この度、地方版図柄入りナンバープレート導入申請期限が平成30年9月28日まで延期されたことにより東美濃ナンバー実現協議会負担金を認めることとしたが、期限までの時間は限られている。早期に「東美濃」の地名の浸透を図り、市民の意向を正確に把握し市民意見を確実に反映させること。

## 常任委員会報告

第2回定例会の議案審査等の概要です。

### 予算決算委員会

今期定例会では、平成30年度補正予算審査を行いました。

#### 岐阜医療科学大学開設支援事業

審査を深めるため、参考人として学校法人神野学園に来ていただき、薬学部開設延期に伴う事業計画について説明を受けました。

#### ◆◆参考人に対する質疑◆◆

**Q** 資金収支計画中、施設関係支出が当初計画より減額となっている。何らかの措置をとったということなのか。

**A** 既設の大学の保健科学部や自動車短期大学等神野学園全体の数字であり、一概に薬学部だけをもっての数字の変わ

化ではない。

**Q** 1年延ばしたことによって工事単価が上がるような影響は想定しているか。

**A** 年度が変わったから金額が上がるということは一概には言えないと考えるが、備品については、教員の意見を反映する等して仕様が変わる可能性はある。

#### その他の一般会計補正予算

#### ◆◆質疑◆◆

**Q** 東美濃ナンバー実現協議会負担金に関して、東美濃ナンバー導入についての再アンケートの実施や市民への周知を行うべきであるがどう考えているか。

**A** 市長としては、当然アンケートをとるべきと考えているが、多数決に全て従うわけではなく、東美濃ナンバーを市民が使うことで、市民の郷土に対する誇り

や愛着心を醸成していき、本市が中心であった東美濃という意味の周知をしていきたい。

**Q** 東美濃ナンバー導入についてのアンケートでは、可児市は4割の方が反対だった。次回予定されるアンケートの自身が決まっていないが、どのような結果になれば、確実に国に認めてもらえるのか。

**A** 制度上は県が国へ申請することになる。住民合意については国に確認してもらえらる形で申請できるよう、協議会が県にしっかりと伝えることが必要と考える。

**Q** ふるさとを誇りに思う教育事業で、今回追加された内容は県の10割補助なので、全校で行うことはできなかったのか。

**A** 16校全てにこの案内は配付したが、時期的なことや視察する施設の条件等により申請できない場合もあった。

**Q** 昨年12月議会の補正予算に対する附帯決議で岐阜医療科学大学との連携を図ることをお願いした。進捗状況は。

**A** 継続的に協議をしている。実習生の受け入れについてはこども健康部を中心として約100名を予定している。帷子地区センターまつりへの参加での地域連携等一つ一つ試行錯誤しながら進めていく。

#### ◆◆討論◆◆

**賛成** 3月議会において当初予算案のうち、東美濃ナンバー

実現協議会負担金について反対した。理由は東美濃ナンバーへの住民理解が不十分であること、東美濃ナンバー反対の意見をお持ちの住民が多数いたことである。しかし、国への申請期限延長が決まり、東美濃という名称の認知を広げるため、市としても様々な努力をしている。今回市民への認知がさらに広がることを期待し、東美濃ナンバー実現協議会負担金を含む補正予算案に賛成。

なお、採決の後、委員から補正予算に対して何らかの意見を付けるべきとの意見が出され、

議論の結果、附帯決議を提案することに賛成多数で可決しました。

### 【議云だより第80号の訂正】

6ページ最上段の修正案概要中1行目に「東美濃ナンバー実現協議会は」とありますが、正しくは「東美濃ナンバー実現協議会に参加する各市町は」でした。

## 総務企画委員会

### 軽自動車税に環境性能割を導入

可児市税条例の一部改正について審査しました。

**Q** 個人市民税非課税基準を10万円引き上げるとしているが、税収への影響は。

**A** 給与及び公的年金収入の方については、収入額から所得額を算出する際の控除額が10万円減額となるので所得額が上がることになる。よって給与及び公的年金収入の方については実質的な影響はない。

**Q** 軽自動車税について、種別割と名称変更することだがどのように変わるのか。

**A** 従前の軽自動車税が種別割という名前が変わり、取得時にかかる環境性能割が加わった二本立てとなる。これは、自動車取得税にかわり市税として新たに創設されるものである。

**Q** たばこ税の値上げにより、市の税収はどれくらい増えるのか。

**A** 平成28年度決算額は6億2600万円ほどであった。たばこ離れが進んでおり、年々税収は減ってきているが、今回の改正で1500万円前後の増加になると見込んでいる。

## 建設市民委員会

### 大森台宅地開発事業を視察

大森台（樺ヶ丘）宅地開発事業の現地視察を行いました。事業は平成27年11月に開始され、現在は宅地造成前の砂利採取が行われています。平成31年

12月までに70万㎡を採取予定で進められてきましたが、約28万㎡を採取した段階で中断しています。

現地では懸念される豪雨時の土砂流出対策として、一時的に雨水を貯められるよう、6つの沈砂池が設けられていました。また集中豪雨に備え、排水誘導路を整備中でした。

中断している砂利採取に関しては県と相談しているとして、再開は決まっていないとのことでしたが、更なる安全対策をしていただくよう、事業者側に要望しました。

## 教育福祉委員会

指定地域密着型サービス及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備、運営等に関する基準を定める条例の一部改正を審査しました。

**Q** 政令で定める者の範囲が拡大されたが、その背景は何か。

**A** 介護人材不足の中で事業者がより裾野を広げて担い手を確

保できるよう、身体介護より研修時間の少ない生活援助従事者研修が加わった。

### 「戦国山城ミュージアム」を視察

6月30日にリニューアルオープンとなる戦国山城ミュージアム（旧兼山歴史民俗資料館）を視察しました。

1階では美濃金山城主森氏に関連する寺社についての資料や兼山地区の街並みが、また2階では山城がパネル展示などで紹介されていました。

リニューアルオープンをきっかけに兼山に多くの方が訪れ、地域との交流も生まれ、活性化につながることを期待します。



学芸員の説明を聞きました

# 一般質問

一

## 13人が市政を問う

市の方針や市民の皆さんの生活に関わる大切な内容について議員が市に対して質問を行いました。

一般質問の紙面は、質問議員が作成しています。ご不明な点は議員にお尋ねください。



下記二次元コードを読み取っていただくと議場での様子を映像にてご覧いただけます。



### 立地適正化計画の考えは

**Q** 国は都市再生特別措置法を改正し、都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住機能や都市機能の誘導によりコンパクトなまちづくりを推進するための「立地適正化計画」を制度化した。本市の考えは。

**A** 市街地を縮小する立地適正化計画の考え方は、本市の総合戦略の施策とは整合しない。用途地域内の未利用地の活性化に加えて、市街地周辺の農地のうち、駅や学校に近く、居住に適した地域については、都市的土地利用推進地として位置づけ、子育て世帯の定住・移住先として積極的な土地利用を進めることになっている。

子ども110番の家制度を見直す

**Q** 子ども110番の家制度の現状と見直しは。

**A** 地域の皆様による善意のボランティアということもあり、これまで所管部署がはっきりしないまま運営されていたのは事実である。これを契機に、関係機関、関係者が集まり、役割分担、責任の所在等について協議する機会を持つ。



子ども110番の家マップ



さわの しん 伸 澤野

# 人生100年時代の不安解 消策は



さかい まさし  
酒井 正司

**Q** 市が標榜する住みごころ一番・可児が高齢者層にも及び諸政策は。

**A** シルバー人材センター及び健友連合会は、会員数が減少傾向にあるが、高齢者の生きがいがづくりや、社会参加に大きく貢献していることから、今後でもできる限りの支援を行っていく。介護保険施設の整備については、介護サービス全体の供給量や事業者の人材確保の状況等を総合的に確認しながら検討していく。

## 岐阜医療科学大学とまちづくり

**Q** 大学との連携・帷子地域包括支援センター移転・西可児駅前整備・空き家と学生ニーズのリンクは。

**A** 協定に基づき人材育成の



雑草が茂る西可児駅前周辺(5月末撮影)

支援、マーンとの連携等の準備を進めている。地域包括支援センターを大学内に設置することまでは考えていないが帷子地内への移転の検討を今後も行っていく。西可児駅前のハード面整備は、大学から新たな要望があれば、緊急性、重要性を判断し、適宜対応する。また「可児市空き家再生プロ集団」の活動は、管理不全空き家の減少、学生の安全・安心な地域環境の確保につながると期待している。

# 緊急防災情報の割込み放送を開始



いとう けんじ  
伊藤 健二

**Q** 本市が提供する災害緊急情報の周知・徹底が重要だ。豪雨災害の検証による対応、方針の改善について、取り組みと到達点の提示を。

**A** 避難情報等の最適な周知方法は、すぐメールかへの配信と同時に市のホームページで閲覧できること。さらに掲載する緊急情報は、配信と同時に機械的に、市ホームページトップ中央に掲載できるシステムを7月から運用する予定。また今年4月からFMららによる緊急情報・防災避難情報等の割り込み放送を開始し、職員の参集体制も改善強化した。

## リニア汚染土壌対策は万全か

**Q** リニア工事は課題山積で、

工事計画は未公開だ。環境破壊が心配されるリニア建設工事の施行計画を公開させ、本市の安全対策を問う。

**A** J R 東海から、発生土置き場、搬出・運搬計画とも検討中で、未決定と確認した。大森工区の建設発生土の処理体制につき、今後J R 東海が施工計画、環境保全計画にて明確にした上で、地元等関係者に説明する。その策定過程で、市と十分な協議をJ R 東海に求める。



[FM55]活用の緊急情報伝達システム

## 特別教室にもエアコンを



とみ だ まき 子  
富田 美子

**Q** 本市では、平成26年・27年にわたって、小中学校の普通教室にエアコンを設置したが、特別教室にはほとんど設置がない。快適な環境で児童・生徒が学習に励めるように、特別教室へのエアコン設置を進めてほしい。

**A** 児童生徒が一番長くいるのがクラスルームなので、普通教室に限定して空調整備をおこなった。図書室については、8小学校、1中学校で大規模改修時や特殊なケースとして設置している。今後、財政事情に余裕があれば、空調整備の可能性を探っていききたい。

### 就学援助を切り下げないで

**Q** 本市では平成31年度の新入学時から、就学援助の新入

学用品費支給を入学前の3月支給とする予定だ。ところが、

本年10月より実施される生活保護基準の引き下げで、就学援助対象世帯が狭められるのではないかと心配だ。

**A** すでに平成30年度の認定は済んでおり、改定前の基準で判定している。今後についても、改定前の基準で判定する予定。

	全国	岐阜県
普通教室	49.6%	55.2%
特別教室	34.6%	40.7%
全 体	41.7%	46.8%

(文部科学省発表資料より)

平成29年度公立小中学校の空調設備設置状況

## 学校規模適正化の方針見直しは



たか ぎ まさのぶ  
高木 将延

**Q** 学校規模適正化に関する基本方針が示されてから5年が経つ。当初の児童数推計値が現状と乖離してきているが、計算方法も含め見直しはあるか。

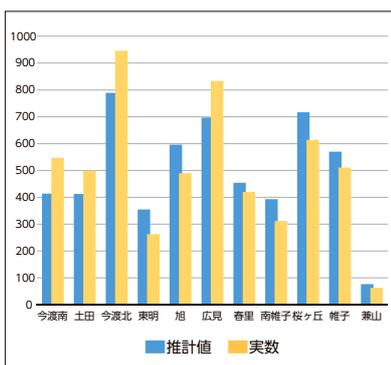
**A** 区画整理等で人口が増えている場合と違い、一般的な推計で測るのは難しい。本市の場合、企業誘致による人口流入があり、子どもが中学にあがるのを機に転入される世帯が多く、中学校において増加する傾向にある。また、外国籍児童が増えているのも本市の特徴である。企業誘致が一段落し、今後の景気動向を考えると、人口増から新たに維持の段階に入ったと思われる。毎年2月に直近の児童生徒数をもとに、今後の見直しを検討しているが、特段対処

不能な学校もなく、今まで同様、推移を注意深く見守っていくこととしている。

学校規模による教育環境の違いは

**Q** 学校規模によらず、等しく教育を受けることができているか。

**A** 国の教育基準を示す学習指導要領に合わせた教育活動を行っており、学校規模の大小で教育内容が異なることはない。



平成30年度小学校児童数

## 安全な自転車通学を実現するため



あまう よしあき  
天羽 良明

**Q** 谷迫間地区内の市道32号線は、車がすれ違う時には、自転車の通れる隙間がなく大変危険である。高校に向かう学生のためにも歩道を有する道路工事を早期に行うべきでは。

**A** 本路線は、自動車の交通量が多く、歩行者等が危険であるとの理由により、継続して自治会からの拡幅要望が提出されている。市では、平成29年度に本路線の交通量調査を実施し、朝・夕の交通量が多いという結果を踏まえ、道路拡幅の必要性を確認した。新規事業箇所として優先度が高いと認識しており、時期は未定だが、国の補助採択を視野に入れ順次整備を行っていく。

は 交差点の自転車事故防止策



市道32号線道路拡幅工事早期着工を

**Q** 自動車事故の平成29年度県内ワースト10位である今渡住吉南交差点での車や歩行者との自転車事故防止対策をどうしていく考えか。

**A** 可児警察署に確認したところ、平成29年度中に、住吉南交差点で自転車に関係する事故は発生していない。4車線化による交差点形状の整備、信号及び横断歩道等は基準に応じて適正に整備される。

## ウォーキング(散策)にベンチを



たはら りか  
田原 理香

東美濃の地域発掘は市民の参加で

**Q** ベンチが散策途中の休憩や憩いの場所として大変有効だ。特に高齢者からベンチ設置の要望があるが市の考えは。

**A** 302運動を進めてきたが、ベンチの設置要望は届いていない。また、普通に歩く、普通に買い物に行く、そのための健康づくりとしてベンチを置くことは考えていない。

**Q** ウォーキングアプリを利用することで歩く楽しみが増え、外へ出る人も増えると考える。スマホなどアプリの導入について考えは。

**A** 市では、運動していない人にかたして歩いてもらうかを重点的に検討中であるが、アプリは現時点では最善策とは考えていない。

東美濃の観光開発として

**Q** 議論が進められているが、地域こだわりのいいところ探して住民目線で発掘することが必要。そのために住民参加の開発会議を発足させてはどうか。

**A** 「ひがしみの山城」推進部会では山城連絡協議会が市民団体同士の相互交流など連携を図り、活発に活動している。市としてそれを支援する。提案については、各部会で伝えていく。



散策途中に休憩される高齢者

## 大河ドラマで観光交流人口増加を



板津 博之  
いたず ひろゆき

**Q** 2020年に放送される大河ドラマが明智光秀を主人公とした「麒麟がくる」に決定した。本市は光秀ゆかりの地でもあるが、観光交流人口増加に向けたハード面の整備はどのように進めるのか。

**A** 明智長山城をはじめ、市内にある山城については一定の整備がなされてはいるが、案内看板など今後整備が必要なものもある。これらの課題をしっかりと整理し、今後の施設整備等については、大河ドラマの状況にも合わせ、4部6課により起ち上げたプロジェクトチームで協議し、計画的に進めていく。

大河ドラマを生かした観光施策は

**Q** 大河ドラマ放送決定は観

光振興の絶好のチャンスと考えるが、本市の観光施策は。

**A** 必要な整備は進めるが、ハード面だけで勝負できるものではない。最近の観光は昔のものを見るというより、食べ物を含め、そこでしか体験できないおもてなしを受ける体験型である。勝負どころはいかに可児市ならではの、明智光秀にちなんだ体験型の仕掛けをするかということにかかっている。



瀬田地内にある明智長山城跡

## 地区センターのバリアフリー化を



山田 喜弘  
やまだ よしひろ

**Q** 地区センターの中には、トイレの段差が10センチあるところもある。段差解消などバリアフリー化を進めるべきである。

**A** 地区センターのトイレはほとんどが湿式で、衛生管理上段差がある。施設の長寿命化のための大規模改修時に、地域の皆様に施設のあり方について意見を伺いながら、トイレの段差解消等バリアフリー化に向けた改善について検討していきたい。段差の注意喚起や和式・洋式の表示は行っていく。男子用小便器の手すり未設置は設置に向け検討する。また、駐車場に妊産婦優先マークがない地区センターは、順次新規設定を検討する。

健康ポイントで健康寿命延伸を

**Q** 清流の国岐阜健康ポイント事業における県との連携は。

**A** 市民の健康づくりの実践と継続のための働きかけを強化したい。事業の内容について福祉部とともに精査した上で、県との連携を進める。取り組みの達成指標は、健診受診率が重要と見込んでいる。ポイント設定の詳細などを含め、県の設定目標などを参考に参考にする。



段差の注意喚起の表示

## 三期目出馬の決意は



なかむら さとる  
中村 悟

**Q** 新たな施設や仕組みが始まり更なる行政の企画力指導力が問われる時であり、市長の担う役割は重大である、三期目に向けての決意を伺いたい。

**A** 7・15豪雨を重く受け止め災害に強いまちづくりを最重点に基盤整備を進め、高齢化、少子化、地域経済の活性化、まちの安全づくりの4つを基本に8年間ぶれることなく進めてきた。少子高齢社会を乗り越えるべく、市民の皆様と共にまちづくりを本格化していきたい。

はどう考えているか。

**A** 歴史、文化面でつながりの深い東美濃の連携を進めており「半分、青い。」や大河ドラマは追い風となっている。放送時期までにソフト、ハード面の整備を進めていきたい。東美濃ナンバーについては、戦略的に使うことにより経済文化交流圏として東美濃地域が一丸となって、全国にPRし誘客に繋げる事ができると考えている。

**Q** 「半分、青い。」や大河ドラマの主人公に明智光秀が決定など、「東美濃」をPRする千載一瞬のチャンスだ。市

### 「東美濃」への取り組みは



市内至る所で目にする「東美濃」

## 防災行政無線デジタル化へ再考を



のろ かずひさ  
野呂 和久

**Q** 本市の同報系防災行政無線(以下 防災無線)は、アナログ子局186局中158局が20年以上使用され、耐用年数も大幅に超過している。保守点検・部品交換によりアナログの防災無線の維持を続けていく方針と聞くが、アナログ部品の生産中止等による防災無線の存続を心配する。デジタル化への再考はないのか。

**A** 防災無線のデジタル化は行わず、現機器の延命を図り有効活用していく。災害時の情報伝達はすぐメールかにかやFMから、インターネット等で周知し、今後もその時点で最適な代替手段を選択していく。

**Q** 現在、本市では介護保険制度での住宅改修と福祉用具の購入は、費用を全額支払った後、払い戻しとなる償還払いとなっている。利用者の負担軽減の観点から自己負担分のみを支払う受領委任払いにできないか。

**A** 償還払いは、一時的にせよ利用者に経済的負担がかかることもあるので、関係事業者等への周知をはかる等、来年度から受領委任払いができるよう事務を進める。

### 住宅改修費等の受領委任払いは



行政と市民を結ぶ防災行政無線

## 観光振興への今後の展望は



わたなべ ひとみ  
渡辺 ひとみ

**Q** NHKの大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公が明智光秀であること、ロケ地が岐阜県内に想定されていることをどうとらえているか。

**A** 本市を含む東美濃がゆかりの地として確かであるため、ハード面の整備やイベントなどの企画を進めていく。

### 観光交流・観光経済の活性化

**Q** 市民ボランティアの参画や企業協力を今まで以上に広げていく必要があると考える。観光交流人口の増加を図り、ものづくりのまち可児に観光産業をリンクさせる絶好の機会ではないかと考える。情報発信についても課題の一つと考える。さらなる観光政策をどのように推し進めていくの

か。

**A** プロジェクトチームを立ち上げ企画立案している。大河ドラマ関連のイベントなど市民や企業の協力をお願いしていく。土産物や特産品の開発やブランド化も2020年の大河ドラマを契機に急ピッチで進めていく。さらには東美濃全体で連携を図り、広域での観光振興を進めていく。



常設展示の甲冑と兜(観光交流館)

## 「可児そだち」を育てていくには



やまね かずお  
山根 一男

**Q** 本市の地域ブランド戦略の代表的なものに「可児そだち」がある。導入から8年目となるが、さらなる認知度の向上策は。

**A** 「可児そだち」は平成23年に、農産物及びその加工物の安全と信頼の確保、並びに市内産業の活性化、農業用施設の多面的機能の維持を図ることなどを目的としてスタートした。当初28品目だったが、

平成29年度末には56品目と倍増している。現在、ケーブルテレビ可児のいきいきマイタウンや、市のホームページ・SNSなどを使って情報発信している。また、集客の高い場所での物産販売や観光PRを継続するほか、岐阜の名産を販売する企業と連携し新たな販路拡大を図り、市のブラ

ンド力向上を目指していく。

### 児童発達支援事業のあり方

**Q** 障がいのある子どもの早期発見・早期療育は、市の重要な取り組みであり、利用する施設による料金体系の差は是正すべきではないか。

**A** こども発達支援センターくれよんは市が設置する施設で、市民が利用する場合は無料としている。民間の児童発達支援事業所の利用者負担分を市が負担することは考えていない。



「可児そだち」の認定シール

# 特別委員会 活動報告

可児市議会には、現在2つの特別委員会があります。  
平成29年第2回定例会（6月議会）以降の活動報告です。

## 議会改革特別委員会

平成29年7月29日に地域課題懇談会を開催し、高校生32名、大学生7名、可児商工会議所など各種団体の大人24名、議員13名が参加し、「駅前に必要なにぎわい」についてワールドカフェ方式で意見交換を行いました。また、11月2日に可児高校模擬選挙、平成30年2月8日には5回目となる高校生議会を開催しました。併せて、可児市議会主催の事業の外部評価を試行しており、直近では平成30年5月の議会報告会においても、NPO縁塾と名城大学都市情報学部昇秀樹教授のゼミ生による外部評価を行いました。

## 議会広報特別委員会

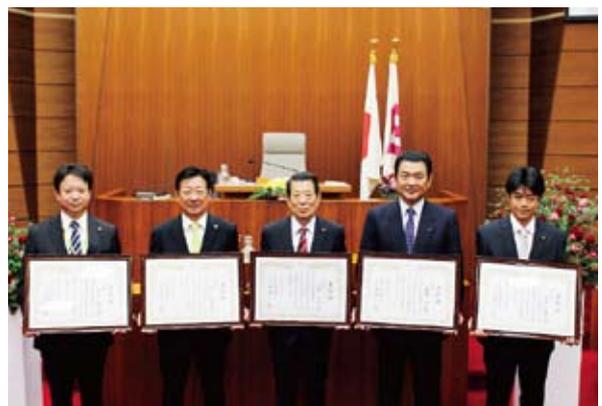
広報紙「議会のトビラ」を第65号から第68号まで発行しました。議会活動にご理解いただける紙面作りに検討と工夫を重ねています。また、テレビ・ラジオ番組制作小委員会をつくり、ケーブルテレビ、FMら向けに広報番組を制作しています。ケーブルテレビ番組は、通常の放映以外に議会報告会当日にも会場で放映するなど活用しています。議会広報特別委員会は任期2年の委員会です。前半期を終了し、後半期では、「議会のトビラ」のさらなる進化と議会制作の広報番組のあり方について、研究を深めたいと思います。

## 議会レポート

このコーナーでは、議会が本会議以外で行っているさまざまな活動を、写真で報告していきます。



**▲農業委員会との懇談会**（4月4日）  
建設市民委員会は、農業委員、推進委員との懇談会を行い、日頃の活動を通して感じられていることや農業の将来性に対する考え等を伺いました。現状の課題を共有し、可児市の農業の今後について真剣に考えていかなければならないと再認識しました。



**▲永年勤続表彰**（6月22日）  
全国市議会議長会及び東海市議会議長会から、川合敏己議員、川上文浩議員、酒井正司議員、澤野伸議員、天羽良明議員が勤続10年以上の表彰を受けました。

# 議長交際費と政務活動費

## 平成29年度議長交際費を公表

議長交際費とは、議長が議会を代表し対外的な活動をするために、予算の範囲内で支出する経費です。

なお、議長公務の内容は、議会ホームページやフェイスブック等で公開しています。

区分	件数	支出額(円)
慶 祝	0	0
見 舞	1	10,000
弔 慰	7	46,880
会 費	20	166,500
協賛・賛助	0	0
そ の 他	0	0
計	28	223,380

## 平成29年度政務活動費の使い道を公表

政務活動費とは、議員の調査研究に役立てるために必要な経費の一部として交付されるもので、本市議会議員には一人当たり年額24万円が各会派または会派に属さない議員へ交付されます。各会派等は、毎年、収支報告書に領収書を添付し議長に報告しています。また、残額は市に返還しています。

なお、領収書などは、議会ホームページで公開しているほか、議会事務局で閲覧することができます。

会派名	人数(人)	交付額(円)	支出額合計(円)	残額(円)
誠 颯 会	10	2,400,000	2,401,233	0
真 政 会	4	960,000	612,302	347,698
自由民主クラブ	2	480,000	64,472	415,528
日本共産党可児市議団	2	480,000	418,607	61,393
可児市議会公明党	2	480,000	153,253	326,747
市民の声	2	480,000	519,546	0
計	22	5,280,000	4,169,413	1,151,366

会派名	支出額	支出内訳					
		調査研究費	研修費	広聴費	資料作成費	資料購入費	事務所費
誠 颯 会	2,401,233	1,151,132	959,403	0	137,309	15,924	137,465
真 政 会	612,302	0	612,302	0	0	0	0
自由民主クラブ	64,472	47,000	0	0	11,663	4,800	1,009
日本共産党可児市議団	418,607	0	282,264	0	1,620	111,725	22,998
可児市議会公明党	153,253	0	0	0	22,126	52,628	78,499
市民の声	519,546	0	398,359	0	0	6,180	115,007
計	4,169,413	1,198,132	2,252,328	0	172,718	191,257	354,978

※誠颯会と市民の声の支出額には会派負担分を含みます。

## 第4回定例会のお知らせ

8月

22日 開会日(議案説明)

22日 予算決算委員会

23日  
30日 一般質問  
31日

9月

3日 一般質問・議案質疑

4日 予算決算委員会

5日 総務企画委員会

6日 建設市民委員会

7日 教育福祉委員会

10日 予算決算委員会

12日 閉会日(委員長報告・討論・採決)

会議は午前9時開会の予定です。

日程は、都合により変更となる場合もあります。

## 地域のかがやき 地域の笑顔

土田／はぐみの森・土田保育園稚鮎の放流



元気に大きくなってね

広見東／寺子屋あけち チョウの鱗粉転写



ひらひらと飛びそうだね



## チョット おじゃまします

※せつかくの農作物が、イノシシにより荒らされる被害が続いています。伊藤壽委員と田原理香委員が、イノシシの捕獲にご尽力をいただいている「猟友会」元代表 宮島さんにお話を伺いました。

広報委員：猟友会会員は何名ですか。

宮島さん：猟友会会員は43名です。そのうち、イノシシやアライグマなど有害鳥獣駆除員は18名です。

広報委員：有害鳥獣の捕獲について、教えてください。

宮島さん：狩猟期間は3月16日から10月31日です。今年は5月現在で、市内東部地域が多いのですが、アライグマ5匹、ヌートリア1匹、ハクビシン9匹、イノシシ11頭を捕獲しました。

広報委員：これまでこわい思いをされたことはありますか。

宮島さん：罾が外れて、イノシシが顔面に跳びかかってきた時は、もうダメかと思いました。

広報委員：捕獲活動をされて思うことは？

宮島さん：山が荒れるなど、随分里山の環境が変わってきました。イノシシも餌を求めて人里に出没するようになりました。開発の影響も大きいかと思っています。

広報委員：最後に一言お願いします。

宮島さん：「猟友会」の会員の平均年齢は68歳です。ぜひ若い人に入ってきてほしいですね。

## 取材を終えて

「猟友会」の方々の日頃の活動があることで、農作物の被害が抑えられています。体を張っての活動です。どうぞお気をつけてください。捕獲したイノシシの一部を「山の神様」にお供えされるそうです。自然の摂理を感じました。

